

# 「小名浜の新たな魅力創造事業」かわら版

平成 27 年  
3 月発行



## 第3回 賑わい・景観部会を開催しました！

### 第3回 賑わい・景観部会の概要

【日 時】平成 27 年 1 月 21 日（水） 【場 所】まちづくりステーション小名浜  
【参加者】賑わい・景観部会員：15 名出席（地元住民・事業者・各行政機関のみなさん）

#### 部会の流れ（平成26～27年度）

1. 検討テーマの確認
2. 既存市街地に賑わいを波及させるための課題共有とアイデア出し  
(想定される課題は？解決するための施策は？)
3. ソフト施策の具体的な取り組み内容の検討①  
(短期的に取り組む施策は？) **今回**
4. ソフト施策の具体的な取り組み内容の検討②  
(施策をどの様に実現する？) H26 H27
5. ソフト施策の具体的な取り組み内容の検討③  
(施策を継続的に実施するためには？)
6. ソフト施策の具体的な取り組み内容の検討④  
(実施施策の確認・調整)
7. とりまとめ

※議題の進捗等に応じ、開催回数を増やすこともあります

#### 第3回部会の議題・流れ

#### ソフト施策の具体的な取り組み内容の検討

～短期的に取り組む施策は？～

##### ①情報共有・報告

- 第2回賑わい・景観部会結果
- 小名浜絆まつり運営者アンケート調査結果

##### ②意見交換・とりまとめ

- 短期的（まち開きまで・まち開き後数年間）に取り組む施策について



## 前回（第2回）の賑わい・景観部会の整理

### 「賑わいを市街地へ波及させる方法」の整理

- ・「人手」「資金」「場所」の問題から、現状の規模・頻度でイベントを拡大するのは困難
- ・イベント等の賑わいづくりで小名浜地区外からの参加・協力を得る方法や活動資金をいかに得るかが課題
- ・オープンスペースでの賑わい活動を支援するイベント総合窓口の設置が必要

### 「賑わい創出につながる景観形成」の整理

- ・良好な景観形成の実現に向けて地域の機運を盛り上げるなど、環境づくりが必要
- ・「子どもを巻き込んだ取り組み」「人に見られているという意識づくり」から、住民自ら何ができるかを考えていくことが必要
- ・景観形成を先導していく地元組織が必要

#### 短期的な取り組み

オープンスペースでの取り組みを支援する「活動支援組織」の仕組みづくりを進めます！

#### 短期的な取り組み

「景観形成に対する理解と協力を得るための素地づくり」を進めます！

## 『活動支援組織』の仕組みづくり』の意見交換

### 活動支援組織の担い手について

- ・小名浜まちづくり市民会議は、これまでの取り組みからノウハウがある
- ・小名浜まちづくり市民会議がオープンスペース活用を希望する団体を募集し活動を支援するイメージ

### 活動支援を行っていくために必要なこと

#### 《短期的には…》

- ・専従職員の増員
- ・組織運営の資金獲得

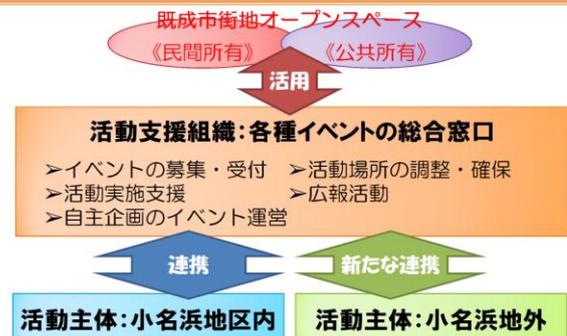
#### 《将来的な想い》

- ・まちづくり会社の設立
- ・まちづくり会社の収益をまちづくりに還元

### オープンスペースでの活動

- ・(仮)竹町通りに実店舗ができてくるよう、賑わいづくりの一環としてイベントを実施
- ・当面は小名浜地区商店連合会が中心となって活動を実施し情報発信し認知度を高める

既成市街地オープンスペースを活用した、  
定期的・継続的・高頻度な取り組みの実現



【活動支援組織のイメージ】

## 『景観形成に対する理解と協力を得るための素地づくり』の意見交換

### 意識啓発の取り組みで重要なこと

- ・様々な人の景観意識を高めていくため、広く参加・体験ができる取り組みを展開
- ・「景観を考えるきっかけになる」「景観を作る・守る」等の目的を明確に伝える
- ・三世代（祖父母、父母、子）が一緒に参加できるような取り組み

### 具体化に向けての取り組み（案）

- ・地域団体の活動と連携した取り組み（写真コンクール、写生のワークショップ等）
- ・地元の方々が参加できる「花を植えるプロジェクト」のような取り組み
- ・小名浜らしい景観の発掘・発信に係る取り組み（海、大漁旗、地域の歴史の学習）



【意識啓発に向けた取り組みイメージ】



## 第3回 交通部会を開催しました！

### 第3回 交通部会の概要

【日 時】平成27年2月3日（火）

【場 所】小名浜武道館

【参加者】交通部会員：21名出席（地元住民・事業者・各行政機関のみなさん）

#### 部会の流れ（平成26～27年度）

1. 交通の現状・問題・課題の共有  
(想定される錯綜は?)
  - ↓
  2. ソフト施策の具体的な取り組み内容の検討  
(問題・課題に対するアイデアの具体化)
  - ↓
  3. ソフト施策の具体的な取り組み内容の検討②  
(問題・課題に対するアイデアの具体化)
  - H26 ↓
  - H27 4. ソフト施策の具体的な取り組み内容の検討③  
(施策をどのように実現する?)
  - ↓
  5. ソフト施策の具体的な取り組み内容の検討④  
(実施施策の確認・調整)
  - ↓
  6. とりまとめ
- ※議題の進捗等に応じ、開催回数を増やすこともあります

#### 第3回部会の議題・流れ

##### 問題・課題に対するアイデアの具体化

- ①交通を分散させるための迂回路への誘導について  
➢前回部会結果のおさらい  
➢事務局提案事項の説明・確認（意見交換）
- ↓
- ②効率的な駐車場の運用について  
➢前回部会結果のおさらい  
➢事務局提案事項の説明・確認（意見交換）
- ↓
- ③新小名浜魚市場の業務交通と観光交通の錯綜について  
➢懸念される問題・課題の共有  
➢問題・課題に対するアイデアの具体化（意見交換）



## 前回（第2回）の交通部会の整理

### 「迂回路への案内誘導方法」の整理

- ・アクアマリンふくしま、いわき・ら・ら・ミュウは案内マップにおいて同じ誘導路を使用
- ・上記の誘導路は、鹿島街道への集中を分散するように、神白方面や臨港道路へ誘導
- ・道路の案内標識も、上記の誘導路に沿って配置

### 「効率的な駐車場の運用方法」の整理

- ・空き駐車場を探し回る交通を少なくするため、各施設の駐車場間で連携は必要
- ・各施設の警備員が、統一されたルールに基づいて駐車場への案内を行えないか？
- ・各駐車場の満・空情報を把握・共有し、来場者に向けて情報発信したら良いのでは？

### 短期的な取り組み

アクアマリンパーク及び都市センターゾーンへの誘導マップの統一化や情報発信の検討を進めます！

### 短期的な取り組み

アクアマリンパークや都市センターゾーンに新設される駐車場間の連携に向けた検討を進めます！



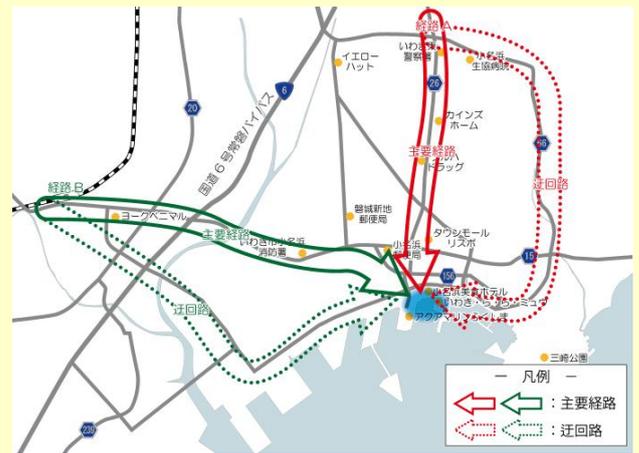
## 『誘導マップの統一化や情報発信』に係る意見交換

### リアルタイム渋滞情報の取得方法

- ・ラジオのトラフィックインフォメーションはガソリンスタンドが情報源であり、そのノウハウは活用できるのでは？

### 誘導方法に対する意見

- ・遠方からの来訪者を誘導することが重要
- ・カーナビやスマートフォンナビでうまく誘導できないか？
- ・沿道での看板（有人・無人）による誘導
- ・過度な誘導は避け、沿道店舗にも配慮必要



【迂回路のイメージ】

### 短期的な取組み

- ・アクアマリンパーク来訪者に迂回路に係るアンケートを実施し、効率的迂回方策を検証する
- ・迂回路への誘導に効果的な情報の内容・提供手段を検討する（渋滞情報、立て看板等）
- ・案内誘導マップを作成し、各主体が共有・情報発信する

## 『駐車場間の連携』に係る意見交換

### 満・空情報の把握方法に対する意見

- ・リアルタイムな満・空情報が重要
- ・満車時は、人手での誘導に加え、待ち時間を知らせることも必要

都市センターゾーン **連携** アクアマリンパーク

周辺駐車場を一体的に利用可能に！

【一体的な駐車場利用のイメージ】

### 短期的な取組み

- ・アクアマリンパークの来訪者アンケート調査で駐車場の利用性向上に有効な情報を把握する
- ・駐車場満・空情報の把握・共有方法を検討し、関係者相互で調整する
- ・アクアマリンパークの各駐車場で、満・空情報の把握・共有を実証する

## 『新小名浜魚市場の業務交通と観光交通の錯綜』に係る意見交換

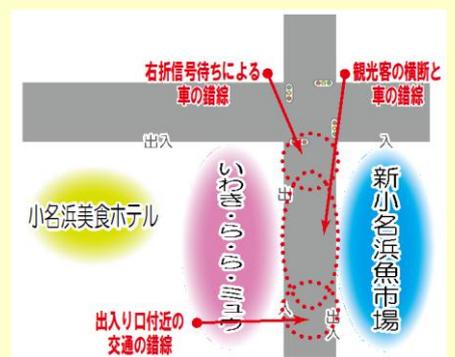
### 懸念される問題

- ・3日以上連休で魚市場が稼働している時を中心に、業務交通・観光交通・歩行者が錯綜

### 考えられる軽減方策

《新小名浜魚市場、いわき・ら・ら・ミュウ間で連携》

- ・交通誘導員の増員や適切な配置
- ・混雑時は、いわき・ら・ら・ミュウの北側出入り口に誘導
- ・業務・観光交通の進入退出経路のルール化



【錯綜の懸念箇所】

問合せ

福島県いわき建設事務所

〒970-8026 いわき市平字梅本 15 番地

電話：0246-24-6143

担当：企画調査課 安齋